

令和5年度 第3回玉垣小学校学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年8月24日（木）16:00～17:00

2 場 所 図書室

3 あいさつ（委員長・学校長）

4 協議事項

（1）いじめ防止対策委員会

- ・玉垣小学校いじめ防止基本方針，1学期のいじめアンケート結果について毎年教職員で基本方針を確認し，共通理解のもと組織的に対応している。いじめは無いに越したことはないが，「いじめはどこの学校でも誰にでも起こり得るものだ」という前提で，問題が起こったらしっかりと対応していく，できるだけいじめがおこらないような土壌づくりをしっかりと行っていく，という方針で取り組んでいる。
- ・鈴鹿市内の公立学校では，毎学期いじめアンケートを行っている。鈴鹿市だけでなく全国でもいじめの認知を上げていこうという姿勢の中，本校でもトラブルの大小にかかわらずすべてのケースをいじめとして認知する方向で取り組みを進めている。低学年では，軽い暴力などの内容がやや多い傾向がある。全体では，ひやかしやからかい・悪口など嫌なところを言われるといった内容が多くあがっている。学校としては，いじめに気づいた周りの児童がやめるように言ったり，誰かに伝えたりすることができる児童が少しでも増えていくように取り組みを進めていることろだ。
- ・いじめられていると報告のあった児童に対しては，教育相談や個別相談を迅速に行い，解決に向けた対応をしている。また，内容の大小に関わらず保護者にも連絡することを原則として，家庭と連携した取り組みとなるようにしている。

Q 子どもから学校の先生に直接相談する児童はいるのか。

A 直接相談をうけるケースもある。

Q いじめのことを先生に相談しても無駄だと考えている児童はいないか。

A 担任だけでなく，養護教諭や学年の先生など，子どもが話しやすい先生に話せるようにしながら，全校体制でいじめ解決に向けた取り組みを進めるようにしている。

また，いじめの認知についても担任だけで判断するのではなく，いじめ防止対策校内委員会を開き一つ一つのケースについて，複数の目で確認し組織的な対応を取るようになっている。

Q 男女の割合はどうか。

A 統計として男女別の人数までは確認していないが，さまざまな報告を聞いてきた上での印象としては，若干男子の事例の方が多いのではないかと感じている。しかし学年ごとに顕著な男女差があるようには感じない。

Q スマートフォンの取り扱いはどのようにしているのか

A 基本的には学習に不要なものは持ってこないとしているが，昨今の事情も鑑みて，登下校での防犯面等を心配される場合は，「携帯電話持ち込み許可願」を提出の上，登校後はすぐに職員室に提出し，下校前に職員室にもらいに行くというシステムで行っている。

Q 学校にいじめを申告するボックスのようなものはないか。

A 現時点では設置していないのでぜひ検討していきたい。

Q 教育委員会としていじめ等に関わる相談員を配置する計画はないのか。

A いじめについては、今は多くの学校で組織的な対応を心がけている。担任だけでなく複数で子どもたちとの関わりを作りながら、誰に対しても相談できる環境を提供できるように努めていきたい。また、自分から声を発することをためらう児童についても、良い方法がないか、検討していきたい。

(2) 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

- ・鈴鹿市は全国平均より下だという結果であるが、数字のみに一喜一憂せず、傾向を分析して、今後の授業改善等につなげていきたい。
- ・家庭学習や読書をする時間については改善傾向が見られるが、全国平均よりやや少ないと考えている。時間だけでなく、内容も効率的に充実したものとなるよう工夫が必要である。
- ・児童質問紙からは、家で計画を立てて勉強しようとしている子どもたちの姿がわかる一方で、学級で話し合いながらよりよい解決方法を目指していこうとする点等に課題が見られた。これらの結果を全教職員でも共有しながら、今後の取組を進めていきたい。
- ・健康で健やかな子どもたちが育ってくればとは思いますが、学力面についての今後も実態に応じた対策を講じる必要がある。
- ・学校の図書室の貸出本数だけでなく、市の図書館での貸出冊数なども確認すると、より正確な子どもの姿がわかってくるのではないかと。

(3) 夏休みの児童の様子

- ・異常な暑さで外で遊んでいる子はあまりみかけないが、玉垣センターでは午後から子どもたちが訪れている姿を見かける。

Q 夏休みのプールの開放は今も行っているのか。

A 本校では今は行っていない。市全体で見てもプール開放は減少傾向ではないかと思われる。

- ・盆踊りが再開した地区があったり、民生委員による科学教室などの地域の催しが開催されたりしたが、市の屋外プールの閉鎖や夏のラジオ体操の取り止め等もあり、子どもたちの遊べる場所や機会が減少していることが問題である。
- ・町民運動会を数年ぶりに開催する予定だが、もっと地域でのコミュニケーションを増やしながら、地域で親子が一緒に何かできる場を提供していかなければならない。

5 意見交換

- ・中勢バイパス工事に伴って来年度中に北玉垣交差点に右折帯ができることがほぼ決定した。
- ・ショッピングモールのゲームコーナーには、クレーンゲームなどのたくさんのゲーム機等が設置されているが、子どもたちがそれらを利用しているかどうか確認しておくとうい。
- ・就学前の子どもたちを対象とした、200人規模の市の施設を建設するという案が市から示されているようだが、立地場所等については子どもたちの安全等を考えて計画を進めていきたいと考えている。今後も情報収集を心がけていくべき事案である。

Q 夏休み中の子どもの大きな事故はあるのか。

A 今年には交通事故等の報告は受けていない。

6 教育委員会より

(1) いじめアンケートについて

- ・市としても積極的認知をしながら、いじめの重大化を防ぎ、いじめの未然防止に取り組んでいる。今後は傍観者の側となる子どもたちへの教育をより推進していかねばならないと考えている。地域からのお力添えもお願いしたい。

(2) 事故について

- ・市内では6月から大人子ども含めて急に交通事故が増えており、また全国的にも水の事後が報道されていたところだ。教育委員会でもパトロールをしたところ、小中高校生が川遊びをしている場面を見かけ指導した。今後も多くの目で見守っていただき思わぬ事故を未然に防いでいきたいと考えているので、地域からのご協力もお願いしたい。

7 その他

- ・体育学習発表会（運動会）の実施について
- ・今後の学校運営協議会の開催予定